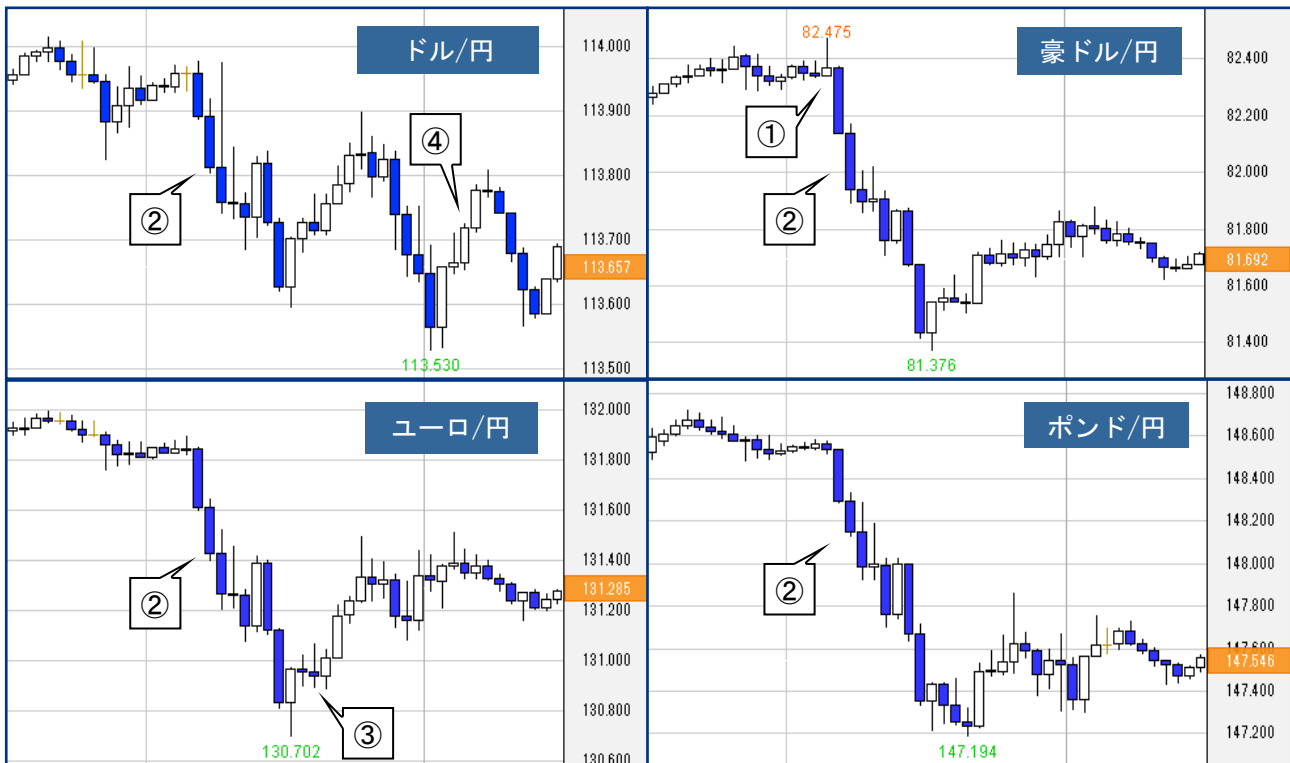


10月3日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、114円の強い抵抗で調整含み

2日(火)の為替相場



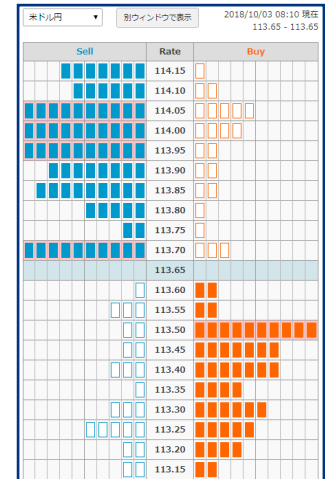
期間 2日(火)午前6時10分~3日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)は大方の予想通りに政策金利を1.50%に据え置いた。声明も「失業率の低下とインフレの目標達成にさらなる進展が期待されるが、進展は緩やかである可能性」「政策スタンスを変更しない事が経済の持続可能な成長と、時間をかけてインフレ目標を達成する事に一致すると判断」などと、概ね前回までの内容を踏襲した。
- ② イタリア政権の一翼を担う極右政党「同盟」の有力議員ボルギ氏が「イタリアが自国通貨を持てば、大半の問題は解決すると本当に確信している」と発言した事を受けて同国のユーロ離脱懸念が高まり、ユーロ売り・円買いが活発化。香港を筆頭にアジア株が総じて軟調に推移した事もあってユーロ/円以外のクロス円やドル/円にも下落圧力がかった。
- ③ イタリアのコンテ首相が「ユーロは我々の通貨であり、我々にとって逆行できないものだ」とした上で「異なる見解を示す他のあらゆる発言は現在の政府方針に沿わない主観的な意見と見なされるべきだ」と述べた。ユーロ売りのきっかけを作ったボルギ議員も「イタリアはユーロを捨てる計画ない」と発言して沈静化を図るとユーロが持ち直した。
- ④ パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長は講演で、米経済見通しは「際立って良好」と述べた上で「段階的な利上げの継続が適切」との見解を改めて示した。また、失業率が4%を下回り、賃金が上昇しているにもかかわらずインフレ率が小幅な伸びにとどまっている状況は「歴史的に見ても異例な」局面と指摘した。

2日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
24270.62 △24.86	6126.214 ▼46.046	休場	7474.55 ▼21.12	12287.58 ▼51.45
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26773.94 △122.73	0.1300% ▼0.0060	2.669% △0.001	1.528% ▼0.059	0.422% ▼0.050
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8108% ▼0.0081	3.0631% ▼0.0205	75.23 ▼0.07	1207.00 △15.30	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	113.300-114.000	130.400-131.900	81.200-82.200	146.600-148.300

【ドル/円】

昨日のドル/円は、114.00円台で頭打ちとなり一時113.50円台まで反落する調整含みの展開。イタリア懸念で米長期金利が低下した事が重しとなった。一昨日、昨日と2日続けて114.00円台で上値を阻まれており、この水準が強い上値抵抗として意識されそう。もっとも、昨日の調整でRSI(相対力指数、14日)は60%台後半に低下しており、過熱感は薄れつつある。9月中旬以降の上昇をサポートしてきたボリンジャーバンド+1シグマ(執筆時113.379円)に接近している点からも下げ止まりの兆しが見られる。本日のドル/円は、次なる方向感を見出すべく113円台でもみ合う展開となりそう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
10/3(水)	10:10		(日)日銀国債買入れオペ(1-3年、3-5年、5-10年)	--	--
	10:30		(豪)8月住宅建設許可件数(前月比)	-5.2%	+1.0%
	15:20		(ユーロ圏)メルシュECB理事、講演	--	--
	17:30	○	(英)9月サービスPMI	54.3	54.0
	18:00		(ユーロ圏)8月小売売上高(前月比)	-0.2%	+0.2%
	19:30		(米)エバンズ・シカゴ連銀総裁、講演	--	--
	21:05		(米)バーキン・リッチモンド連銀総裁、講演	--	--
	21:15	◎	(米)9月ADP全国雇用者数(前月比)	+16.3万人	+18.4万人
	23:00	◎	(米)9月ISM非製造業景況指数	58.5	58.0
	23:30		(米)EIA週間原油在庫統計	--	--
	27:00		(米)ブレイナードFRB理事、講演	--	--
	27:15		(米)メスター・クリーブランド連銀総裁、講演	--	--
	29:00	◎	(米)パウエルFRB議長、講演	--	--
	-	○	(英)保守党大会(メイ首相演説)	--	--

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。